

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働組合](#) | [労働組合の組織と役割](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)

▶ キーワード検索はこちら

労働組合 労働組合の組織と役割

1. 企業別組合とは、1つの会社ごとに、その従業員が集まって、1つの組合をつくっている組合のことで、単位労働組合「単組」と言われます。日本では企業別労働組合がほとんどですが、欧米では職能別組合や産業別組合が主流です。

2. 企業別組合の長所は、

①職場が1つにまとまること。

②組合の中心が会社の中にあり、職場で組合活動ができること。

③会社の経営に対して、組合が敏感であり、迅速に対応できること。

④経営者との間に、ある種の信頼感があり、会社との間でユニオン・ショップ協定やチェック・オフ協定も結びやすく、組合運営が円滑にいくこと。

逆に短所として、

①労働者全体の力量を小さくしていること。

②経営者との力関係で対等になりきれない点。

③活動が会社の中に限られる点。

④規模が小さすぎたり、リーダー役がいなかったりして、組合結成が困難な会社では、その労働者は、労働運動の恩恵が受けられないこと。

⑤退職や失業すると組合員でなくなること。

3. 日本の労働組合は、企業別組合の長所を生かしつつ、その弱点をカバーするために連合体組織を発展させてきました。これには、同じ産業や業種の組合が集まってつくられる産業別連合体組織、さらにこれらが全国的に集まってきたナショナル・センターがあります。これらは企業別組合にとって上部団体となります。

4. このような団体の役割は大別して三つあります。

一つは、企業別組合の運営や活動への指導・援助です。

二つは、運動の連合化です。

三つは、企業別組合では、手のとどかない社会的・政治的分野で、労働者の幸福の条件をつくり出す活動です。

5. なお、近年は未組織労働者の駆け込み寺的な役割として、企業の枠を超え、一人でも加入できる合同労組、コミュニティ・ユニオンが各地に結成されています。

チェック・オフ (check off) とは、労働組合と使用者の協定に基づき使用者が組合員である労働者の賃金から組合費を控除（天引き）して、それを一括して組合に引き渡すこと。我が国の93.5%がチェック・オフを行っている（厚労省「H18年労働協約等調査」）。

出典：労働運動用語辞典（発行・公益財団法人富士社会教育センター）より引用

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> 一覧へ戻る

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.